



## IP無線を導入して良かったこと

“**専用の無線機を持ち歩く必要がなくなったことで、整備士の負担が減り、1台あたり月額数千円の節約に。**”

エアライン

整備



航空機の着陸後、離陸までの間に行う点検で、整備士同士の連絡に使用しています。お客さまの乗る飛行機の安全を守りながら、遅延を最小限にするよう、整備士同士の連絡に使用しています。

具体例としては、点検中に修理や交換が必要と判断した場合に、Buddycomを通して部品の搬送や作業者の要請を行っています。

整備士が持ち歩く端末数を減らす事ができ、荷物の重量を500g軽くできたのは大きなメリットでした。

また、Bluetoothのスピーカーマイクを併用することによって、騒音環境など状況に左右されることがなくなったため、整備士のコミュニケーションに有効でした。従来の無線機のような機械的な音声ではなく、非常にクリアな音質で個人を特定しやすいです。





## 導入前の不満

過去、専用のIP無線機を使用していましたが、無線機はサイズも大きく重量もあるため、持ち歩く整備士の負担となっていました。

また、24時間運用の現場に対し、無線機の充電が追いつかないため、配備台数が増加し、管理が難しくなっていました。

## 導入した経緯

整備士には既に整備情報の共有のため、スマートフォン(iPhone)を配備していました。Buddycomでは、スマートフォンで無線機と同様の通信ができること、スマートフォンへの機能集約により持ち歩く端末数を削減できることから、採用を検討しました。また、周辺機器の選択肢が多く、悪天候下で使用する弊社に有効であると判断できた事も導入の理由です。



飛行機のエンジンが回った騒音下  
の中で連絡を取る場合にも、

**通話品質が  
非常によく**

有効で役立っております。

専用無線機からBuddycomに変更すると品質や安定性に問題があるのではないかという不安の声がありました。

しかし、トライアルとして実際の整備作業で使用してもらう事でその懸念は払拭されました。

また、日々進化していく機能ですが、特にエンタープライズ向けのサービスとして、マルチトークグループ受信、音声テキスト化、翻訳といった新機能に大変興味を持っております。



### スマホIP無線だからできた事

導入がカンタンなため、空港内で作業する整備士一人一人に無線環境を配備し、相互連絡を取る事ができました。また、整備士と技術サポートの距離も近づける事ができました。



### 導入検討中の方へメッセージ

Buddycomの導入により、現場作業者の身体的負担を削減しながら、従来以上の通信環境が実現でき、情報共有もうまくいくようになりました。

 **SCIENCE ARTS**

株式会社サイエンスアーツ

WEB: [www.science-arts.com](http://www.science-arts.com)

Service: [www.buddycom.net](http://www.buddycom.net)

お問い合わせ: [info@science-arts.com](mailto:info@science-arts.com)

